

**「メディカルダッシュボードの構築・運用・保守業務委託」  
に関するプロポーザルに係る提案書評価基準**

表1の評価項目及び重みづけのもと、評価を行います。各評価項目の評価の視点は表2のとおりです。

(1)「1 実施体制等」「2 提案内容」「3 操作性向上等に向けた取組内容及び意欲」「5 姿勢・意欲」はA～Eの5段階評価、「4 業務実績」はA、C、Eの3段階評価を行い、次のように点数化し、項目ごとの倍率を乗じて評価点を算出する。

評価	A	B	C	D	E
評点	5点	4点	3点	2点	1点

(2)「6.企業としての取組」は、表1「評価の着目点」に記載した項目(1)～(6)について、1つ満たすごとに1点を加算する。

(3)「1.実施体制等」「2.提案内容」「3.業務実績」においてE評価のある者、又は評価点の合計が(評価委員の人数)×98点を下回る者は、原則として選定しない。

表1 基本的評価事項(合計211点)

項番	評価項目	評価の着目点	評点(評価)	倍率	配点
<b>1 実施体制、プロジェクト管理(配点:20点)</b>					
1.1	人員体制	業務を遂行するのに十分な人員・組織体制が、具体性・実現性を持って提案されているか。	5～1 (A～E)	2	10
1.2	プロジェクト管理	本業務を理解し、適切なスケジュール管理及び情報共有がなされるプロジェクト管理体制が提案されているか。	5～1 (A～E)	2	10
<b>2 当該業務に関する具体的な提案(配点:135点)</b>					
2.1	実施方針	メディカルダッシュボードの構築に向けて、その達成に向けた道筋や考え方が具体性、実現性をもって提案されているか。	5～1 (A～E)	3	15
2.2	業務実施スケジュール	業務内容を理解し、実現可能なスケジュールが提案されているか。	5～1 (A～E)	3	15
2.2	デザインのコンセプト表現力	対象とするテーマの機能要件、デザイン作成にあたっての留意事項を踏まえ、メディカルダッシュボードのコンセプトを可視化し、表現できているか。	5～1 (A～E)	3	15
2.3	デザインの訴求力	メディカルダッシュボードのコンセプトや対象とするテーマの機能要件、デザイン作成にあたっての留意事項を踏まえ、インパクトや独創性があるなど、効果的で訴求力のあるデザインとなっているか。	5～1 (A～E)	3	15
2.4	デザインの見やすさ	メディカルダッシュボードのコンセプトや対象とするテーマの機能要件、デザイン作成にあたっての留意事項を踏まえ、パソコン、スマートフォンそれぞれで見やすいデザインとなっているか。	5～1 (A～E)	3	15

2.5	操作性・使いやすさ	メディカルダッシュボードのコンセプトや対象とするテーマの機能要件、デザイン作成にあたっての留意事項を踏まえ、パソコン、スマートフォンそれぞれのデバイスの特性に応じた操作性・使いやすさが反映されているか。	5～1 (A～E)	5	25
2.6	効率的な運用	ユーザー（市職員）による定期的なデータ更新作業が効率的でわかりやすいものになっているか。	5～1 (A～E)	5	25
2.7	円滑で安定的な運用・保守	業務内容を理解し、メディカルダッシュボードの運用・保守の考え方が具体性、実現性をもって提案されているか。	5～1 (A～E)	3	10
<b>3 操作性向上に向けた取組内容（配点：25点）</b>					
3.1	操作性向上に向けた取組	利用者目線での操作性向上に向けたUI/UXに関する取組や、ダッシュボードを閲覧した後に見て欲しい情報にたどり着くための工夫に関する提案について、具体性・実現性・妥当性があるか。	5～1 (A～E)	5	25
<b>4 業務実績（配点：10点）</b>					
4.1	業務実績	過去のダッシュボードの構築実績や自治体をはじめ国内外との業務経験等の実績などからみて、確実に業務を遂行できる能力があるか。	5, 3, 1 (A, C, E)	2	10
<b>5 姿勢・意欲（配点：15点）</b>					
5.1	姿勢・意欲	プレゼンテーションの内容がわかりやすく、説得力があるか。また質疑に対する応答が適切か。	5～1 (A～E)	3	15
<b>6 企業としての取組（配点：6点）</b>					
6.1	ワークライフバランス、障害雇用、健康経営に関する取組	次の項目を満たしているか (1つ満たすごとに1点加算) (1) 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員101人未満の場合のみ加算） (2) 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員101人未満の場合のみ加算） (3) 次世代育成支援対策推進法による認定の取得（くるみんマーク）、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定の取得、又は、よこはまグッドバランス賞の認定の取得 (4) 青少年の雇用の促進等に関する法律に基づくユースエール認定の取得 (5) 障害者雇用促進法に基づく法定雇用率2.3%の達成 ※達成している（従業員43.5人以上）、又は障害者を1人以上雇用している（従業員43.5人未満） (6) 健康経営銘柄、健康経営優良法人（大規模法人・中・小規模法人）の取得、又は、横浜健康経営認証のAAAクラス若しくはAAクラスの認証	6～0 (—)	1	6

表2 評価の視点

評価の項目・着眼点	評価				
	A	B	C	D	E
<b>1 実施体制、プロジェクト管理 (配点：20点)</b>					
<b>1.1 人員体制</b> 業務を遂行するのに十分な人員・組織体制が、具体性・実現性を持って提案されているか。	体制整備等の考え方が具体的に示されており、非常に優れている	体制整備等の考え方が具体的に示されており、優れている	体制整備等の考え方が具体的に示されており、適正である	体制整備等の考え方が具体的に示されているが、やや適正であるとはいえない	体制整備等の考え方が具体的に示されていない又は該当する記載が無い
<b>1.2 プロジェクト管理</b> 本業務を理解し、適切なスケジュール管理及び情報共有がなされる業務管理体制が提案されているか。	業務内容を的確に理解しており、趣旨に沿った非常に優れた業務管理体制が提案されている	業務内容を理解しており、趣旨に沿った優れた業務管理体制が提案されている	業務内容を理解しており、適切な業務管理体制が提案されている	業務内容の理解度に不安があり、適切な業務管理体制の提案であるとはいえない	業務内容を理解していない又は該当する記載が無い
<b>2 当該業務に関する具体的な提案 (配点：135点)</b>					
<b>2.1 実施方針</b> メディカルダッシュボードの構築に向けて、その達成に向けた道筋や考え方が具体性、実現性をもって提案されているか。	実施方針の考え方が具体的に示されており、非常に優れている。	実施方針の考え方が具体的に示されており、優れている。	実施方針の考え方が具体的に示されており、適正である。	実施方針の考え方が具体的に示されているが、やや適正であるとはいえない。	実施方針の考え方が具体的に示されていない又は該当する記載が無い。
<b>2.2 スケジュール</b> 業務内容を理解し、実現可能なスケジュールが提案されているか。	業務内容を的確に理解しており、実現可能な非常に優れたスケジュールが提案されている。	業務内容を理解しており、実現可能な優れたスケジュールが提案されている。	業務内容を理解しており、実現可能なスケジュールが提案されている。	業務内容の理解に不安があり、適切なスケジュールの提案であるとはいえない。	業務内容を理解していない又は該当する記載が無い。
<b>2.2 デザインのコンセプト表現力</b> 対象とするテーマの機能要件、デザイン作成にあたっての留意事項を踏まえ、メディカルダッシュボードのコンセプトを可視化し、表現できているか。	コンセプトを的確に表現した非常に優れたデザインが提案されている。	コンセプトを表現した優れたデザインが提案されている。	コンセプトを表現した具体的なデザインが提案されている。	コンセプトを表現したデザインの提案であるとはいえない。	具体的なデザインが示されていない又は該当する記載が無い。
<b>2.3 デザインの訴求力</b> メディカルダッシュボードのコンセプトや対象とするテーマの機能要件、デザイン作成にあたっての留意事項を踏まえ、インパクトや独創性があるなど、効果的で訴求力のあるデザインとなっているか。	デザインに訴求力があり、訴求力を高める効果的な提案がされている。	デザインに訴求力があり、訴求力を高める提案がされている。	デザインに訴求力があり、適正である。	デザインが示されているが、訴求力があるとはいえない。	具体的なデザインが示されていない又は該当する記載が無い。
<b>2.4 デザインの見やすさ</b> メディカルダッシュボードのコンセプトや対象とするテーマの機能要件、デザイン作成にあたっての留意事項を踏まえ、パソコン、スマートフォンそれぞれのデバイスで見やすいデザインとなっているか。	デバイスごとに見やすいデザインが提案されており、非常に優れている。	デバイスごとに見やすいデザインが提案されており、優れている。	デバイスごとに見やすいデザインが提案されており、適正である。	デザインが示されているが、見やすいデザインの提案であるとはいえない。	具体的なデザインが示されていない又は該当する記載が無い。

<b>2.5 操作性・使いやすさ</b> メディカルダッシュボードのコンセプトや対象とするテーマの機能要件、デザイン作成にあたっての留意事項を踏まえ、パソコン、スマートフォンそれぞれのデバイスの特性に応じた操作性・使いやすさが反映されているか。	デバイスごとの操作性、使いやすさが非常に優れている。	デバイスごとの操作性、使いやすさが優れている。	デバイスごとの操作性、使いやすさが適正である。	デバイスごとの操作性、使いやすさが示されているが、適正であるとはいえない。	具体的な操作性、使いやすさが示されていない又は該当する記載が無い。
<b>2.6 効率的な運用</b> ユーザー（市職員）による定期的なデータ更新作業が効率的でわかりやすいものになっているか。	ユーザーによるデータ更新作業が非常に効率的でわかりやすい。	ユーザーによるデータ更新作業が効率的でわかりやすい。	ユーザーによるデータ更新作業が効率的だがわかりにくい。又は効率的ではないがわかりやすい。	ユーザーによるデータ更新作業が効率的ではなく、わかりにくい。	該当する記載が無い。
<b>2.7 円滑で安定的な運用</b> 業務内容を理解し、メディカルダッシュボードの運用・保守の考え方が具体性、実現性をもって提案されているか。	運用・保守の考え方が具体的に示されており、非常に優れている。	運用・保守の考え方が具体的に示されており、優れている。	運用・保守の考え方が具体的に示されており、適正である。	運用・保守の考え方が具体的に示されているが、やや適正であるとは言えない。	業務内容を理解していない又は該当する記載が無い。
<b>3 操作性向上に向けた取組内容（配点：25点）</b>					
<b>3.1 操作性向上に向けた取組</b> 利用者目線での操作性向上に向けたUI/UXに関する取組や、ダッシュボードを閲覧した後に欲しい情報にたどり着くための工夫に関する提案について、具体性・実現性・妥当性があるか。	提案内容が具体的であり、今後の事業価値向上がかなり期待できる。	提案内容が具体的であり、今後の事業価値向上が期待できる。	提案内容が具体的であり、今後の事業価値向上が多少期待できる。	提案内容が具体的に示されているが、今後の事業価値向上が期待できない。	提案内容が乏しく、具体性に欠けている。
<b>4 業務実績（配点：10点）</b>					
<b>4.1 業務実績</b> 過去のダッシュボードの構築実績や自治体をはじめ国内外との業務経験等の実績などからみて、確実に業務を遂行できる能力があるか。	業務実績を本業務の実施に生かすことが十分に期待できる		業務実績を本業務の実施に生かすことが期待できる		業務実績がない、または業務実績を本業務へ生かすことがあまり期待できない
<b>5 姿勢・意欲（配点：15点）</b>					
<b>5.1 姿勢・意欲</b> プレゼンテーションの内容がわかりやすく、説得力があるか。また質疑に対する応答が適切か。	プレゼンテーションの内容に非常に説得力があり、質疑に対する応答も適切である。	プレゼンテーションの内容に説得力があり、質疑に対する応答も適切である。	プレゼンテーションの内容に説得力がある。又は質疑に対する応答が適切である。	プレゼンテーションの内容に説得力がなく、質疑応答も適切であるといえない。	意欲が無い。
<b>6 企業としての取組（配点：6点）</b>					
<b>6.1 ワークライフバランス、障害雇用、健康経営に関する取組</b> 表1の「評価の着眼点」に記載した項目について1つ満たすごとに1点加算する					